

あじしよん

2022年春号 Vol. 47

無念の中止

すでに業界紙などでご存じかと思いますが、残念ながら今年度も「あじストーンフェア」中止が決定致しました。新型コロナの影響などで過去2年は開催中止となり、今年こそは開催出来ると信じて広報活動してまいりました。しかし、未だに新型コロナは収束の見通しが立たないため開催条件のハードルが高く、最後まで開催を目指していた関係者の方々も苦渋の決断だったと聞いております。

私たちが地元で皆さまとお会い出来ることを楽しみにしておりましたので大変残念ではありますが、来年こそは開催出来ることを祈りながら、これまで以上に庵治・牟礼の情報発信、PRに努めてまいります。

皆さま、来年はあじストーンフェアでお会いしましょう！

最後に、開催に向けて最後までご尽力頂いた関係者様に感謝致します。



以前の展示ブース 営業卸 甲佐

たきのみやてんまぐう 滝宮天満宮 【香川県綾歌郡綾川町】

立春も過ぎたし、そろそろ梅が咲きはじめているかなーと思いながら出かけってみました。滝宮天満宮は菅原道真公が地方で唯一国司として在任され、4年間政権を執られた所で日本でも三大治所跡とされています。その経験を生かして京都に帰り大変な出世をされました。その由縁でこの地は立身出世の登竜門と言われ、滝宮→京都→大宰府の順で参拝すると良いとされています。境内ではたくさんの種類のお守りが売られていますが注目すべきは仕事守です。健康と仕事運の向上を願うと共に、仲間との協調と共感ができるというもの…。



子供守の中には、こんなにかわいいランドセル型もありました。

この神社では4月24日のうそかえ祭り、8月25日の念仏踊りの行事もあります。木製の“うそ鳥”に学業合格、いじめ除け、家内安全、身体健康、病気災難よけの身替り守りとして1年間の悪しき事の元はすべて“うそ鳥”が身替りとなり「嘘」に替え良き事に取り替えるとされています。



ランドセル型お守り

又、8月25日の念仏踊りは当時干ばつにみまわれた時、道真公が7日7夜断食をして祈り、ついに天は祈りに応えて雨が降り、狂喜した人々が神社で踊り狂ったと言う事です。この事から救世主を覚え、豊作を祈願するため毎年踊りの儀式を執り行うことを誓い、踊りながら仏陀への祈りが唱えられます。毎年踊り手の凝った衣装と子供達の太鼓や他の楽器の演奏も参加し、色彩に富んだエネルギッシュな行事です。

お目当ての梅は白梅は半分位咲いていましたが、紅梅はこれからの様で3月下旬頃が見頃とか——

この天満宮のすぐ近くに道の駅もあり、梅見がてらお出かけになってみてはいかがでしょうか。楽しいお土産物ショップもありますよ。



滝宮天満宮 事務部門 志度谷

NFT アート

お客様の中に、最近趣味で NFT アートの取引をされていらっしゃる方がおり、お話を伺う機会がありましたので、この度の記事にさせて頂きたいと思っております。まず、NFT とは世界に一つしか存在しないものであることや、その作成者、所有権等を証明できる仕組みのことです。さらに NFT アートとは NFT 技術を応用し、画像等のデジタルコンテンツに固有の価値を持たせたものを指します。売買は仮想通貨で行われ、イラストレーター等（絵やロゴ等を描くためのソフトウェア）で作成されたオリジナルキャラクター系の NFT アートにハマっているそうです。他人の作品の売買を通じて、投機的な楽しみ方と自らの作品も取引の対象となりますので、創作的な楽しみ方もあるそうです。中には小学生のお子さんが作ったものもあるらしく、かなり高額な値を付けることもあるそうです。試しにインターネットでいくつかのオリジナルキャラクター系の NFT アートを閲覧してみました。（下記の QR コード参照）自分の知らない世界に触れることで、また一つ視野が広がったことは収穫であったと思います。

話しは変わりますが、弊社では毎月、稲森和夫さんが書かれた『京セラフィロソフィー』を元に、輪読会を実施しております。その著書の中には数々の名言がありますが、中でも【常に創造的な仕事をする】というフレーズが印象的で、改善、改良していくことの大切さを指摘されております。改善、改良していくためには発想力を高めることが必要不可欠であると思います。そのためには先入観にとらわれることなく様々な人の話に耳を傾け、多種多様な価値観を吸収していきたいと思っております。

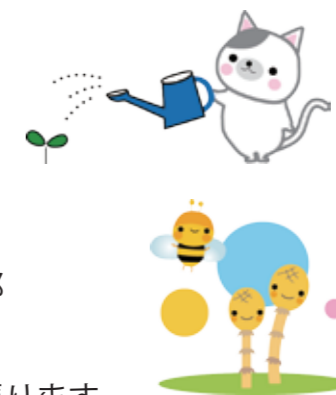
NFT アートについての記事



営業卸 横井

社員紹介 No.11

1. 氏名：渡内 礼
2. 部門：CAD 部門
3. 入社日：2010年2月22日
4. 誕生日：8月17日
5. 出身地：香川県さぬき市
6. 高校時代の部活：コンピューター部
7. 趣味：読書
8. 一言：日々成長できるように頑張ります。



CAD 部門 渡内

編集後記

今期はインフルエンザが流行ると言っていますが、コロナウイルスが出る前と比べるとゼロに等しくなっています。これもマスクを普段から付けて、手洗いうがいをよくするからといえます。私も昔よりはかなり意識するようになりました。早くコロナが収束することを祈りながら、手洗いうがいをしていきます。

CAD 部門 渡内

有限会社 庵治石彫工房

【本社】

〒761-0130
香川県高松市庵治町丸山 63
TEL：087-871-4607
FAX：087-871-2933
e-mail：sekicho@lilac.ocn.ne.jp
HP：http://ajisekicho.com

【大阪営業所】

〒598-0001
大阪府泉佐野市上瓦屋 661-1
第2リヒトビル 502号
TEL：072-469-1125
FAX：072-462-3899